

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）  
「歯科衛生士及び歯科技工士の就業状況等に基づく安定供給方策に関する研究」  
（H29 - 医療 - 一般 - 003）  
平成 30 年度 分担研究報告書

## 歯科技工士の就業状況等に関する調査研究 －歯科技工士養成施設の卒業生を対象とした質問紙調査による分析－

研究分担者 鈴木 哲也（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授）  
研究分担者 大島 克郎（日本歯科大学東京短期大学 教授）  
研究分担者 安藤 雄一（国立保健医療科学院 統括研究官）  
研究代表者 須田 英明（東京医科歯科大学医歯学総合研究科 名誉教授）

### 研究要旨

本研究の目的は、全国の歯科技工士養成施設のなかから、同窓会組織等の運営管理がされている施設を複数選定し、その卒業生を対象として、就業状況や離職要因等を調査し、歯科技工士の安定供給方策を検討するための基礎資料を得ることである。

事前に行ったスクリーニング調査を通じて、調査協力が得られた複数の歯科技工士養成施設のうち、4校を対象とした。調査対象施設の卒業生のなかから無作為抽出された者を対象として郵送法による自記式質問紙調査を行い、回収された調査票のうち、有効回答を分析対象とした。

その結果、各調査対象施設において、現に歯科技工士として就業していない者からも回答が得られ、これらの者の多くが20歳代で離職をしており、免許取得後の早い段階で歯科技工士としての仕事を離れていた。また、現に歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を辞めた理由については、いずれの施設においても、「給与・待遇の面」「仕事内容への不安」が上位を占めており、次いで、「健康面」「人間関係」などの回答が多くみられた。さらに、現に歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士として再び働くことへの意欲については、いずれの施設においても、「そのつもりはない」という回答が多数を占めていたが、一部、「少し意欲がある」という回答もみられた。

これらの結果に関しては、調査票回収率が低値の施設も見受けられ、母集団（全卒業生）の正しい代表を表していない可能性もあるため、離職率などの数値の解釈には注意を要するものの、各施設ともに同様の傾向がみられた。本研究結果を踏まえ、今後、歯科技工士の就業状況等に基づく安定供給方策に関して、さらに検討を加えていく予定である。

### A. 研究目的

近年、就業歯科技工士数は概ね3万5千人前後を推移しているが、特に若年層の減少が顕著である<sup>1)</sup>。こうした現況から、歯科技工士免許取得者の就業と定着が望まれるが、実際

にはその就業率は低い状況にあり、たとえば2016年時点では、免許取得者数118,551人に対して就業者数は34,640人（就業者率：29.2%）と報告されている<sup>1,2)</sup>。歯科技工士の就業状況等に関して、現に歯科技工士として就業している者だけではなく離職者等も含めて実態把握を行う場合、歯科技工士養成施設の同窓会組織を対象とした調査が考えられる。

本研究の目的は、全国の歯科技工士養成施設のなかから、同窓会組織等の運営管理がされている施設を複数選定し、その卒業生を対象として、就業状況や離職要因等を調査し、歯科技工士の安定供給方策を検討するための基礎資料を得ることである。

## B. 研究方法

### 1. 調査対象および調査方法

本研究では、事前に行ったスクリーニング調査を通じて、調査協力が得られた複数の歯科技工士養成施設のうち、4校を対象とした。調査に際しては、対象となる歯科技工士養成施設の協力のもと、各施設が保有している卒業生の住所リストのなかから卒業後概ね30年までの者について、卒業年次ごとに均等に無作為に抽出された者を対象として、郵送法による自記式質問紙調査を行った。調査期間は、各校ともに約20日間を設定し、回収された調査票のうち、有効回答を分析対象とした（表1）。

なお、A校への調査に関しては2017年度に実施しているが<sup>3)</sup>、本報告では、すべての調査対象施設の分析結果を示すこととする。

表1 調査票発送数と回収状況

	発送数	回収数	有効回答数	有効回答率
A校	1,600	240	239	14.9%
B校	464	185	185	39.9%
C校	1,600	320	319	19.9%
D校	95	35	35	36.8%

### 2. 調査内容

質問紙調査に用いる調査票には、すべての者に対する調査項目として、対象者の属性（年齢、歯科技工士としての就業年数、歯科技工士免許を取得した年齢、性別、婚姻状況、世帯員数、子供の数）、歯科技工士養成施設に入学した理由、歯科技工士会への入会状況、現在の就業状況（歯科技工士として働いているか否か、歯科技工士としての業務内容に見合うと思う給与、これまでに歯科技工士として働いた職場を変えた回数）、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況（就職先を選択した際に重要視した条件、学会や勉強会等への参加機会、給与の状況、勤務時間の状況、日々の業務状況）を設定した。

また、現在、歯科技工士として就業している者に対しては、就業環境（現在の就業場所、主な業務内容、CAD/CAMの有無、歯科技工所の規模、勤務形態、現在の職場を辞めたいと思っているか、他の職業に移りたいと思っているか）について回答を求めた。他方、現在、歯科技工士として就業していない者に対しては、離職した時の年齢、離職理由および復職への

意欲について回答を求めた。

実際に質問紙調査に用いた調査票は巻末に添付した。

### 3. 集計および分析

まず、回答者の全体像を把握するため、調査票の各項目について基本統計量を算出した。また、現に歯科技工士として就業していない者と歯科技工士として就業している者との分け、性により層別したうえで、免許取得直後の就業状況との関係についてクロス集計を行った。この際に、免許取得直後の就業状況（学会や勉強会等への参加機会、給与の状況、勤務時間の状況および日々の業務の状況）については、4件法にて得られた回答を二値化したうえで分析を行った。クロス集計においては、 $\chi^2$ 検定を用いて比較した。データ処理には、統計解析ソフト Stata 14<sup>4,5)</sup>を用いた。

### 4. 倫理的配慮

本研究は無記名による自記式質問紙調査とし、各調査対象施設および調査対象者に対しては、調査の趣旨と内容を書面にて示すとともに、調査結果の公表に際して個別の情報を利用することはないことを明記した。なお、本研究は、事前に日本歯科大学東京短期大学の倫理審査を受け、承認されたうえで実施した（東短倫-218）。

## C. 研究結果

以降、本研究結果のうち、現に歯科技工士として就業していない者の回答を中心として示すこととする。なお、各調査対象施設のすべての結果は**別紙（A～D校）**において示した。

**表2**に、回答者の属性の概要を示す。各調査対象施設において、現に歯科技工士として就業していない者からも回答が得られた。

**表2** 回答者の基本属性

	A校		B校		C校		D校		
	n	割合(%)	n	割合(%)	n	割合(%)	n	割合(%)	
総数	239	100.0	185	100.0	319	100.0	35	100.0	
年齢	20歳代	54	22.6	29	15.7	12	3.8	11	31.4
	30歳代	72	30.1	27	14.6	13	4.1	12	34.3
	40歳代	82	34.3	57	30.8	16	5.0	11	31.4
	50歳代以上	30	12.6	72	38.9	277	86.8	1	2.9
	無回答	1	0.4	0	0.0	1	0.3	0	0.0
歯科技工士免許を取得した年齢	25歳未満	211	88.3	150	81.1	299	93.7	31	88.6
	25～30歳未満	15	6.3	29	15.7	14	4.4	1	2.8
	30歳以上	11	4.6	6	3.2	6	1.9	3	8.6
	無回答	2	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
性別	男性	151	63.2	88	47.6	179	56.1	20	57.1
	女性	88	36.8	97	52.4	140	43.9	15	42.9
現在の歯科技工士としての就業状況	歯科技工士として就業している	147	61.5	117	63.2	181	56.7	29	82.9
	歯科技工士として就業していない	92	38.5	68	36.8	138	43.3	5	14.3
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.8

表3に、現に歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を最後に辞めたときの年齢（離職年齢）を示す。いずれの施設においても、「20～25歳未満」「25～30歳未満」で離職したという回答が多数を占めていた。

表3 歯科技工士を離職した年齢

	A校		B校		C校		D校	
	n	割合(%)	n	割合(%)	n	割合(%)	n	割合(%)
総数	92	100.0	68	100.0	138	100.0	5	100.0
20～25歳未満	47	51.1	16	23.5	76	55.1	4	80.0
25～30歳未満	26	28.2	23	33.8	32	23.2	1	20.0
30～35歳未満	8	8.7	10	14.7	16	11.6	0	0.0
35歳以上	10	10.9	10	14.7	6	4.3	0	0.0
無回答	1	1.1	9	13.3	8	5.8	0	0.0

色塗りは各施設における回答割合の順序（最大値：赤，最小値：白）を示しており，赤色が濃いほど高値になっている。

表4に、現に歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を辞めた理由（離職理由）について得られた回答を示す。いずれの施設においても、「給与・待遇の面」「仕事内容への不安」が上位を占めており，次いで、「健康面」「人間関係」などの回答が多くみられた。

表4 歯科技工士を離職した理由

	A校		B校		C校		D校	
	n	割合(%)	n	割合(%)	n	割合(%)	n	割合(%)
総数	92	100.0	68	100.0	138	100.0	5	100.0
仕事内容への不安	42	45.7	22	32.4	72	52.2	4	80.0
給与・待遇の面	53	57.6	28	41.2	80	58.0	3	60.0
人間関係	27	29.3	14	20.6	40	29.0	1	20.0
家庭等の事情	6	6.5	4	5.9	9	6.5	0	0.0
結婚	11	12.0	11	16.2	14	10.1	0	0.0
出産・育児	13	14.1	10	14.7	5	3.6	0	0.0
家族等の介護	1	1.1	2	2.9	1	0.7	0	0.0
健康面	32	34.8	16	23.5	42	30.4	0	0.0
歯科以外への興味	14	15.2	14	20.6	22	15.9	0	0.0
その他	23	25.0	18	26.5	39	28.3	1	20.0
無回答	1	1.1	4	5.9	4	2.9	0	0.0

色塗りは各施設における回答割合の順序（最大値：赤，最小値：白）を示しており，赤色が濃いほど高値になっている。

表5に、現に歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士として再び働くことへの意欲（復職意欲）について得られた回答を示す。いずれの施設においても、「そのつもりはない」という回答が多数を占めていたが、一部、「少し意欲がある」という回答もみられた。

表5 復職への意欲

	A校		B校		C校		D校	
	n	割合(%)	n	割合(%)	n	割合(%)	n	割合(%)
総数	92	100.0	68	100.0	138	100.0	5	100.0
とても意欲がある	4	4.3	2	2.9	4	2.9	0	0.0
少し意欲がある	23	25.0	17	25.0	34	24.6	1	20.0
そのつもりはない	64	69.6	46	67.6	97	70.3	4	80.0
無回答	1	1.1	3	4.4	3	2.2	0	0.0

色塗りは各施設における回答割合の順序（最大値：赤，最小値：白）を示しており，赤色が濃いほど高値になっている。

表6に、現に歯科技工士として就業していない者（非就業者）と就業している者（就業者）とに分け、性により層別したうえで、歯科技工士として働き始めたときの各調査項目の満足度等についてクロス集計した結果を示す。

A校においては、女性の非就業者は就業者よりも、日々の業務に不満を感じている者の割合が有意に多かった。また、B校においては、男性の非就業者は就業者よりも、学会等への参加機会が少ないと感じている者の割合が有意に多かった。さらに、C校においては、男性の非就業者は就業者よりも、学会等への参加機会が少なく、勤務時間への不満を感じている者の割合が有意に多かった。

表6 歯科技工士免許取得直後の就業状況と各満足度等との関係

		A校				B校				C校															
		男性		女性		男性		女性		男性		女性													
		n	不満 (%)	満足 (%)	p値	n	不満 (%)	満足 (%)	p値	n	不満 (%)	満足 (%)	p値												
学会等への参加機会	非就業者	38	76.3	23.7	0.896	44	81.8	18.2	0.774	11	100.0	0.0	0.004	45	80.0	20.0	0.538	59	91.5	8.5	0.032	60	90.0	10.0	0.815
	就業者	106	77.4	22.6		38	84.2	15.8		77	54.5	45.5		39	74.4	25.6		107	78.5	21.5		71	88.7	11.3	
給与の状況	非就業者	39	84.6	15.4	0.644	45	75.6	24.4	0.252	11	72.7	27.3	0.454	46	56.5	43.5	0.286	63	85.7	14.3	0.509	62	75.8	24.2	0.877
	就業者	107	81.3	18.7		39	64.1	35.9		77	61.0	39.0		40	45.0	55.0		110	81.8	18.2		71	74.6	25.4	
勤務時間の状況	非就業者	39	82.1	17.9	0.726	45	86.7	13.3	0.052	11	72.7	27.3	0.289	46	60.9	39.1	0.311	63	93.7	6.3	0.030	63	84.1	16.4	0.330
	就業者	107	79.4	20.6		39	69.2	30.8		77	55.8	44.2		40	50.0	50.0		110	81.8	18.2		71	77.5	22.5	
日々の業務の状況	非就業者	39	82.1	17.9	0.081	45	77.8	22.2	0.037	11	63.6	36.4	0.226	46	58.7	41.3	0.134	63	85.7	14.3	0.103	62	80.6	19.4	0.314
	就業者	107	67.3	32.7		39	56.4	43.6		77	44.2	55.8		40	42.5	57.5		109	75.2	24.8		71	73.2	26.8	

色塗りは、 $\chi^2$ 検定により危険率5%水準で有意差が認められた項目を示す。

## D. 考察

本研究では、歯科技工士の就業状況や離職要因等を把握し、歯科技工士の安定供給方策を検討するための基礎資料を得ることを目的に、歯科技工士養成施設 4 校の卒業生を対象に質問紙調査を実施した。その結果、各調査対象施設において、現に歯科技工士として就業していない者からも回答が得られ、これらの者の多くが 20 歳代で離職をしていた。また、現に歯科技工士として就業していない者の離職理由については、いずれの施設においても、「給与・待遇の面」「仕事内容への不安」が上位を占めており、次いで、「健康面」「人間関係」などの回答が多くみられた。

歯科技工士の就業等に関して離職者も含めて実態把握を行う場合、同窓会組織等を対象とした郵送法調査は利便性・費用面から最も現実的な手法であるが<sup>6-8)</sup>、今回、調査票回収率が低値の施設も見受けられ、母集団（全卒業生）の正しい代表を表していない可能性も考えられる。このため、たとえば「離職率」などの数値の解釈には注意を要するものの、免許取得後の早い段階において歯科技工士としての仕事を離れているなど、各施設ともに同様の傾向がみられた。

厚生労働省が集計している新規学卒就職者の離職状況に関する報告<sup>9)</sup>によれば、2014 年 3 月に高校や大学等を卒業した者の就職後 3 年以内の離職率は、新規高卒就職者が 40.8%、新規大卒就職者が 32.2%と公表している。また、産業別（職種別）に分類した離職状況では、医療・福祉に従事する者に関して、新規高卒就職者が 46.9%、新規大卒就職者が 37.6%と報告している。この調査報告では、雇用保険加入の届出状況により離職者を算出しているため、当該職種を完全に離職したか否かの状況は判別できないが、少なくとも医療・福祉に関する職種では、養成施設等を卒業し就業した後であっても、早期に離職等を選択する者が多いことを示すものである。

歯科技工士の就業状況については、厚生労働省等の報告<sup>1,2)</sup>によれば、歯科技工士免許取得者のうち、その資格をもって就業している者の割合は、直近公表値の 2016 年では 29.2%である（就業者数 34,640 人/免許取得者数 118,551 人）。同様に、歯科衛生士では 45.8%（就業者数 123,831 人/免許取得者数 270,648 人）<sup>1,2)</sup>、歯科医師では 98.7%（就業者数 103,127 人/免許取得者数 104,533 人）<sup>10)</sup>であり、歯科技工士の就業者の割合は歯科医療従事者のなかでもとりわけ低い状況にある。また、安藤らの報告<sup>11)</sup>によれば、歯科衛生士の就業状況においては、全国的に 20 歳代から 30 歳代にかけて就業者数が減少するものの 40 歳代になると増加傾向を示す、いわゆる M 字カーブの形状が年々明瞭になっていたことが確認されたが、歯科技工士の就業状況においては、M 字カーブは認められず、男女ともに年齢が進むにつれて「離職」が進んでいる可能性を示している。これらの結果は、歯科関係職種のなかでも、とりわけ歯科技工士という職種が有する就業継続の困難性を示すものである。

他方、日本歯科技工士会が会員を対象として 3 年毎に実施している歯科技工士実態調査での報告<sup>12)</sup>によれば、分析対象 1,025 人（平均年齢：50.1 歳）のうち、歯科技工業から離れて他業に移りたいと思っている者は 25.4%と報告されている。これらの報告内容と本研

究結果をあわせて考えると、歯科技工士免許を取得してから就業直後の環境などが、その後の就業の定着や離職を判断するうえで節目の一つになっていると捉えることができる。

本研究結果を踏まえ、今後、歯科技工士の就業状況等に基づく安定供給方策に関して、さらに検討を加えていく予定である。

## E. 結論

歯科技工士養成施設 4 校の卒業生を対象として、歯科技工士の就業状況や離職要因等に関する調査を行ったところ、各調査対象施設において、現に歯科技工士として就業していない者からも回答が得られ、これらの者の多くが 20 歳代で離職をしていた。また、現に歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を辞めた理由については、いずれの施設においても、「給与・待遇の面」「仕事内容への不安」が上位を占めており、次いで、「健康面」「人間関係」などの回答が多くみられた。さらに、現に歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士として再び働くことへの意欲については、いずれの施設においても、「そのつもりはない」という回答が多数を占めていたが、一部、「少し意欲がある」という回答もみられた。

これらの結果に関しては、調査票回収率が低値の施設も見受けられ、母集団（全卒業生）の正しい代表を表していない可能性もあるため、離職率などの数値の解釈には注意を要するものの、各施設ともに同様の傾向がみられた。

## F. 引用文献

- 1) 厚生労働省：衛生行政報告例，<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/36-19.html>（2019年3月28日アクセス）。
- 2) 厚生労働統計協会：国民衛生の動向・厚生指標 63：220，2016。
- 3) 鈴木哲也，大島克郎，安藤雄一，須田英明：歯科技工士の就業状況等に基づく安定供給方策に関する研究，厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業「歯科衛生士及び歯科技工士の就業状況等に基づく安定供給方策に関する研究」，平成 30 年度総括・分担研究報告書：66～73，2019。
- 4) Stata：<https://www.stata.com/>（2019年3月20日アクセス）。
- 5) 統計解析ソフト Stata（Light Stone 社），<https://www.lightstone.co.jp/stata/index.html>（2019年3月20日アクセス）。
- 6) 矢野哲也：本校歯科技工学科卒業生における歯科技工士離職率の調査，大分県歯科技術専門学校紀要，4，55～57，2017。
- 7) 相馬泰栄，中澤孝敏：本学歯科技工士学科卒業生の離職について－卒業時他業種選択者および卒後 1 年以内の離職者と実技成績の関係－，明倫短期大学紀要，17，54～57，2014。
- 8) 中澤孝敏，相馬泰栄，植木一範：歯科技工士学科第 8 回卒業生の就業状況調査 - 卒後 6 年の追跡調査結果による考察 - ，明倫短期大学紀要，17，58～61，2014。

- 9) 厚生労働省：新規学卒者の離職状況，[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/jakunen/jakunensha-houdou.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/jakunen/jakunensha-houdou.html)（2019年3月1日アクセス）。
- 10) 厚生労働省：医師・歯科医師・薬剤師調査，<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/33-20.html>（2019年3月26日アクセス）。
- 11) 安藤雄一，大島克郎：同一出生世代別就業者数の推移からみた歯科衛生士と歯科技工士の復職状況，厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業「歯科衛生士及び歯科技工士の就業状況等に基づく安定供給方策に関する研究」，平成29年度総括・分担研究報告書：2018。
- 12) 公益社団法人日本歯科技工士会：2015歯科技工士実態調査報告書，2016。

#### **G. 研究発表**

なし

#### **H. 知的財産権の出願・登録状況**

なし

## 1. 回答者の基本属性

表1に回答者の基本属性を示す。年代別にみた回答者の年齢は、「20歳代」が54人(22.6%)、「30歳代」が72人(30.1%)、「40歳代」が82人(34.3%)、「50歳代」が30人(12.6%)であった。なお、平均年齢(標準偏差)は37.8(9.6)歳、中央値(第1四分位/第3四分位)は38(30/45)歳であった。

表1 回答者の基本属性

		回答者数	割合(%)
年齢	20歳代	54	22.6
	30歳代	72	30.1
	40歳代	82	34.3
	50歳代	30	12.6
	無回答	1	0.4
歯科技工士としての 就業年数	無し	8	3.4
	1年未満	17	7.1
	1年～5年未満	71	29.7
	5年～10年未満	42	17.6
	10年～15年未満	21	8.8
	15年～20年未満	20	8.4
	20年以上	56	23.4
	無回答	4	1.7
歯科技工士免許を 取得した年齢	25歳未満	211	88.3
	25～30歳未満	15	6.3
	30歳以上	11	4.6
	無回答	2	0.8
性別	男性	151	63.2
	女性	88	36.8
婚姻状況	未婚	115	48.1
	既婚	124	51.9
世帯員数	1名	59	24.7
	2名	46	19.3
	3名	52	21.8
	4名	60	25.1
	5名以上	16	6.7
	無回答	6	2.5
子供の数	0名	127	53.1
	1名	34	14.2
	2名	60	25.1
	3名	9	3.8
	4名以上	1	0.4
	無回答	8	3.4
歯科技工士会への 入会状況	現在入会	37	15.5
	過去に入会	36	15.1
	入会経験なし	162	67.8
	無回答	4	1.7

(n=239)

歯科技工士としての就業年数では、「無し」が8人（3.4%）、「1年未満」が17人（7.1%）、「1年～5年未満」が71人（29.7%）、「5年～10年未満」が42人（17.6%）、「10年～15年未満」が21人（8.8%）、「15年～20年未満」が20人（8.4%）、「20年以上」が56人（23.4%）であった。平均年数（標準偏差）は10.4（9.9）年、中央値（第1四分位/第3四分位）は6（2/19）年であった。

歯科技工士免許を取得した年齢では、「25歳未満」が211人（88.3%）、「25～30歳未満」が15人（6.3%）、「30歳以上」が11人（4.6%）であった。平均年齢（標準偏差）は21.3（3.1）歳、中央値（第1四分位/第3四分位）は21（20/38）歳であった。

性別は、男性151人（63.2%）、女性88人（36.8%）であり、婚姻状況では、未婚115人（48.1%）、既婚124人（51.9%）であった。

世帯員数は、「1名」が59人（24.7%）、「2名」が46人（19.3%）、「3名」が52人（21.8%）、「4名」が60人（25.1%）、「5名以上」が16人（6.7%）であり、子供の数では、「0名」が127人（53.1%）、「1名」が34人（14.2%）、「2名」が60人（25.1%）、「3名」が9人（3.8%）、「4名以上」が1人（0.4%）であった。

歯科技工士会への入会状況では、「現在入会」が37人（15.5%）、「過去に入会」が36人（15.1%）、「入会経験なし」が162人（67.8%）であった。

## 2. 歯科技工士養成施設に入学した理由

図1に、歯科技工士養成施設に入学した理由について得られた結果を示す。最も多い回答は「国家資格を取得できるから」で124人（51.9%）であり、次いで、「親・知人等のすすめ」100人（41.8%）、「医療職種だから」95人（39.7%）、「手先に自信があったから」92人（38.5%）、「安定した収入を期待」56人（23.4%）、「独立開業できるから」46人（19.2%）、「基本的に人との対面がない職業だから」23人（9.6%）の順であった。

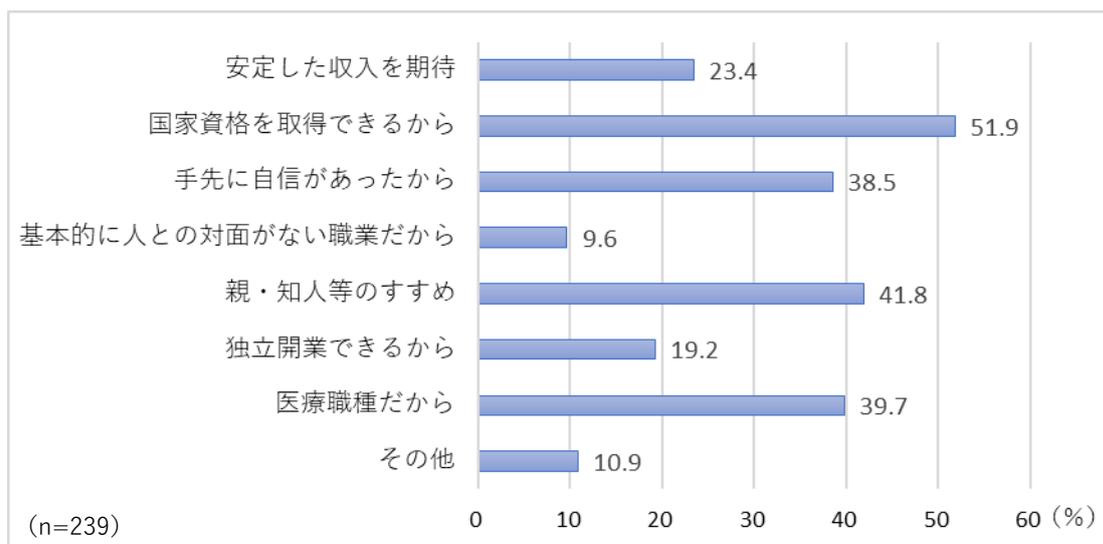


図1 歯科技工士養成施設に入学した理由（複数回答）

### 3. 現在の歯科技工士としての就業状況等について

図2に、現在の歯科技工士としての就業状況について得られた結果を示す。現に「歯科技工士として働いている」と回答した者は147人（61.5%）であり、「歯科技工士として働いていない」と回答した者は92人（38.5%）であった。

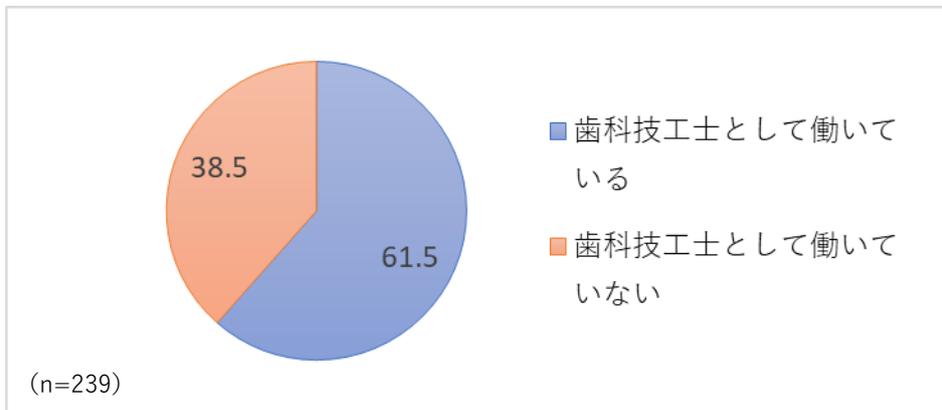


図2 現在の歯科技工士としての就業状況

表2に、歯科技工士としての業務内容に見合うと思う給与（月収）に関して得られた回答を示す。最も多い回答は「30～40万円未満」で78人（32.6%）であり、次いで、「40～50万円未満」が49人（20.5%）、「20～30万円未満」が41人（17.2%）、「60万円以上」が39人（16.3%）、「50～60万円未満」が29人（12.1%）であった。

表2 歯科技工士としての業務内容に見合うと思う給与（月収）

	回答者数	割合 (%)
20～30万円未満	41	17.2
30～40万円未満	78	32.6
40～50万円未満	49	20.5
50～60万円未満	29	12.1
60万円以上	39	16.3
無回答	3	1.3
	239	100.0

表3に、現在において歯科技工士として働いているか否かに関わらず、これまでに歯科技工士として働いた職場を変えた回数を示した。その結果、「免許は取得したが、これまでに歯科技工士として働いたことがない」が8人（3.4%）、「0回（一度技工所などに就職したが、他業種に転職した）」が46人（19.3%）、「0回（技工所などに就職してから、まだ一度も職場を変えたことがない）」が52人（21.8%）、「1回」が52人（21.8%）、「2回」が47人（19.7%）、「3回」が18人（7.5%）、「4回」が10人（4.2%）「5回以上」が1人（0.4%）であった。

表3 歯科技工士として働いた職場を変えた回数

	回答者数	割合(%)
免許は取得したが、これまでに歯科技工士として働いたことがない	8	3.4
0回（一度技工所などに就職したが、他業種に転職した）	46	19.3
0回（技工所などに就職してから、まだ一度も職場を変えたことがない）	52	21.8
1回	52	21.8
2回	47	19.7
3回	18	7.5
4回	10	4.2
5回以上	1	0.4
無回答	5	2.1
	239	100.0

#### 4. 免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況

図3に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時に、就職先を選択した際に重要視した条件について得られた回答を示す。最も多い回答は「立地」で114人（49.4%）であり、次いで、「業務内容」113人（48.9%）,「雰囲気」87人（37.7%）,「給与」71人（30.7%）,「就業時間」60人（26.0）,「福利厚生」57人（24.7%）の順であった。

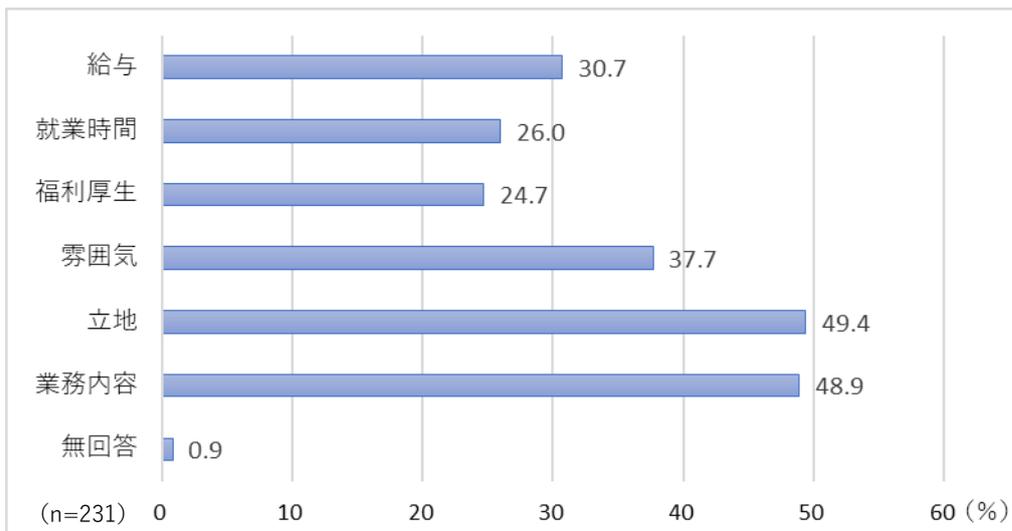


図3 就職先を選択した際に重要視した条件（複数回答）

表4に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、学会や勉強会等への参加機会について得られた回答を示す。「少ない」と回答した者が133人（57.6%）であり、「やや少ない」が46人（19.9%）,「やや多い」が34人（14.7%）,「多い」が13人（5.6%）であった。

表4 免許取得直後における学会や勉強会等への参加機会

	回答者数	割合 (%)
少ない	133	57.6
やや少ない	46	19.9
やや多い	34	14.7
多い	13	5.6
無回答	5	2.2
	231	100.0

表5に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の給与の状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が104人（45.0%）であり、「やや不満」が75人（32.5%）、「やや満足」が36人（15.6%）、「満足」が15人（6.5%）であった。

**表5** 免許取得直後における給与の状況

	回答者数	割合(%)
不満	104	45.0
やや不満	75	32.5
やや満足	36	15.6
満足	15	6.5
無回答	1	0.4
	231	100.0

表6に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の勤務時間の状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が113人（48.9%）であり、「やや不満」が70人（30.3%）、「やや満足」が30人（13.0%）、「満足」が17人（7.4%）であった。

**表6** 免許取得直後における勤務時間の状況

	回答者数	割合(%)
不満	113	48.9
やや不満	70	30.3
やや満足	30	13.0
満足	17	7.4
無回答	1	0.4
	231	100.0

表7に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の日々の業務状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が90人（39.0%）であり、「やや不満」が71人（30.7%）、「やや満足」が50人（21.7%）、「満足」が19人（8.2%）であった。

**表7** 免許取得直後における日々の業務の状況

	回答者数	割合(%)
不満	90	39.0
やや不満	71	30.7
やや満足	50	21.7
満足	19	8.2
無回答	1	0.4
	231	100.0

## 5. 現在、歯科技工士として就業している者の就業環境について

表8に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、現在の就業場所について得られた回答を示す。「歯科技工所（開業）」が33人（22.4%）であり、「歯科技工所（勤務）」が82人（55.8%）、「病院」が6人（4.1%）、「歯科診療所」が20人（13.6%）、「歯科関係企業」が3人（2.0%）、「養成機関」が2人（1.4%）であった。

表8 現在の就業場所

	回答者数	割合(%)
歯科技工所（開業）	33	22.4
歯科技工所（勤務）	82	55.8
病院	6	4.1
歯科診療所	20	13.6
歯科関係企業	3	2.0
養成機関	2	1.4
無回答	1	0.7
	147	100.0

表9に、表8で「歯科技工所（開業）」、「歯科技工所（勤務）」、「病院」または「歯科診療所」に就業していると回答した者を対象として、現在の主な業務内容について調べた結果を示す。「クラウン・ブリッジ」と回答した者が81人（57.4%）で最も多く、次いで、「有床義歯」47人（33.3%）、「小児矯正」8人（5.7%）の順であった。

表9 現在の主な業務内容

	回答者数	割合(%)
有床義歯	47	33.3
クラウン・ブリッジ	81	57.4
小児矯正	8	5.7
無回答	5	3.5
	141	100.0

表8で歯科技工所（開業・勤務）、病院、歯科診療所に勤務していると回答した者が対象

表 10 に、表 8 で「歯科技工所（開業）」、「歯科技工所（勤務）」、「病院」または「歯科診療所」に就業していると回答した者を対象として、現在の職場での CAD/CAM の有無について調べた結果を示す。「CAD/CAM がある」と回答した者が 65 人（46.1%）で最も多く、次いで、「ない」58 人（41.1%）、「CAD のみある」16 人（11.3%）の順であった。

表 10 CAD/CAM の有無

	回答者数	割合 (%)
ない	58	41.1
CADのみある	16	11.3
CAD/CAMがある	65	46.1
無回答	2	1.4
	141	100.0

表 8 で歯科技工所（開業・勤務）、病院、歯科診療所に勤務していると回答した者が対象

表 11 に、表 8 で「歯科技工所（開業）」または「歯科技工所（勤務）」に就業していると回答した者を対象として、現在の歯科技工所の規模について調べた結果を示す。「5～9 人」と回答した者が 35 人（30.4%）で最も多く、次いで、「20 人以上」26 人（22.6%）、「1 人」19 人（16.5%）、「2～4 人」18 人（15.7%）、「10～19 人」15 人（13.0%）の順であった。

表 11 歯科技工所の規模

	回答者数	割合 (%)
1人	19	16.5
2～4人	18	15.7
5～9人	35	30.4
10～19人	15	13.0
20人以上	26	22.6
無回答	2	1.7
	115	100.0

表 8 で歯科技工所（開業・勤務）に勤務していると回答した者が対象

表 12 に、現に歯科技工士として就業している者の勤務形態について調べた結果を示す。「常勤（週 40 時間以上の勤務）」と回答した者が 131 人（89.1%）であり、「非常勤」と回答した者は 14 人（9.5%）であった。

表 12 勤務形態

	回答者数	割合 (%)
常勤（週40時間以上の勤務）	131	89.1
非常勤	14	9.5
無回答	2	1.4
	147	100.0

表 13 に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、現在の職場を辞めたいと思っているか（開業の場合は、廃業）否かについて調べた結果を示す。「思わない」と回答した者が 67 人（45.6%）であり、「やや思う」が 48 人（32.7%）、「思う」が 31 人（21.1%）であった。

表 13 現在の職場を辞めたいと思っているか（開業の場合は、廃業）

	回答者数	割合 (%)
思わない	67	45.6
やや思う	48	32.7
思う	31	21.1
無回答	1	0.7
	147	100.0

表 14 に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、他の職業に移りたいと思っているか否かについて調べた結果を示す。「思わない」と回答した者が 68 人（46.3%）であり、「やや思う」が 50 人（34.0%）、「思う」が 27 人（18.4%）であった。

表 14 他の職業に移りたいと思っているか

	回答者数	割合 (%)
思わない	68	46.3
やや思う	50	34.0
思う	27	18.4
無回答	2	1.4
	147	100.0

## 6. 現在、歯科技工士として就業していない者の状況等について

表15に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を最後に辞めたときの年齢を示す（離職時の年齢）。年代別にみた回答者の年齢は、「20～25歳未満」が47人（51.1%）であり、「25～30歳未満」が26人（28.3%）、「30～35歳未満」が8人（8.7%）、「35歳以上」が10人（10.9%）であった。なお、平均年齢（標準偏差）は25.6（5.0）歳、中央値（第1四分位/第3四分位）は24（22/28）歳であった。

表15 歯科技工士としての仕事を最後に辞めたときの年齢

	回答者数	割合(%)
20～25歳未満	47	51.1
25～30歳未満	26	28.3
30～35歳未満	8	8.7
35歳以上	10	10.9
無回答	1	1.1
	92	100.0

図4に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を辞めた理由について得られた回答を示した（離職理由）。「給与・待遇の面」と回答した者が53人（57.6%）で最も多く、次いで、「仕事内容への不安」42人（45.7%）、「健康面」32人（34.8%）、「人間関係」27人（29.3%）、「歯科以外への興味」14人（15.2%）、「出産・育児」13人（14.1%）、「結婚」11人（12.0%）、「家庭等の事情」6人（6.5%）、「家族等の介護」1人（1.1%）の順であった。

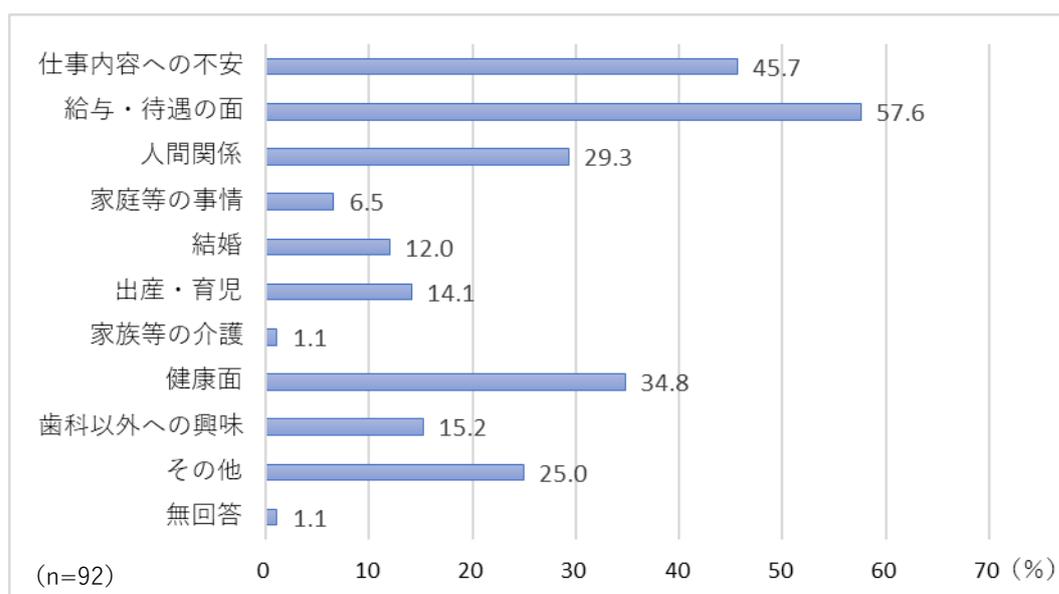


図4 歯科技工士としての仕事を辞めた理由（複数回答）

表 16 に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士として再び働くことへの意欲について得られた回答を示した。「とても意欲がある」と回答した者が 4 人(4.3%)であり、「少し意欲がある」が 23 人 (25.0%)、「そのつもりはない」が 64 人 (69.6%)であった。

表 16 歯科技工士として再び働くことへの意欲

	回答者数	割合 (%)
とても意欲がある	4	4.3
少し意欲がある	23	25.0
そのつもりはない	64	69.6
無回答	1	1.1
	92	100.0



## 1. 回答者の基本属性

表1に回答者の基本属性を示す。年代別にみた回答者の年齢は、「20歳代」が29人（15.7%）、「30歳代」が27人（14.6%）、「40歳代」が57人（30.8%）、「50歳代」が72人（38.9%）であった。なお、平均年齢（標準偏差）は44.2（10.6）歳、中央値（第1四分位/第3四分位）は46（37/52）歳であった。

表1 回答者の基本属性

		回答者数	割合(%)
年齢	20歳代	29	15.7
	30歳代	27	14.6
	40歳代	57	30.8
	50歳代以上	72	38.9
歯科技工士としての 就業年数	無し	11	5.9
	1年未満	4	2.2
	1年～5年未満	35	18.9
	5年～10年未満	35	18.9
	10年～15年未満	16	8.6
	15年～20年未満	20	10.8
	20年以上	62	33.5
	無回答	2	1.1
歯科技工士免許を 取得した年齢	25歳未満	150	81.1
	25～30歳未満	29	15.7
	30歳以上	6	3.2
性別	男性	88	47.6
	女性	97	52.4
婚姻状況	未婚	52	28.1
	既婚	133	71.9
世帯員数	1名（自分のみ）	39	21.1
	2名	38	20.5
	3名	33	17.8
	4名	48	25.9
	5名以上	27	14.6
子供の数	0名	78	42.2
	1名	22	11.9
	2名	59	31.9
	3名	23	12.4
	4名以上	3	1.6
歯科技工士会への 入会状況	現在入会	57	30.8
	過去に入会	41	22.2
	入会経験なし	85	45.9
	無回答	2	1.1

(n=185)

歯科技工士としての就業年数では、「無し」が11人(5.9%)、「1年未満」が4人(2.2%)、「1年～5年未満」が35人(18.9%)、「5年～10年未満」が35人(18.9%)、「10年～15年未満」が16人(8.6%)、「15年～20年未満」が20人(10.8%)、「20年以上」が62人(33.5%)であった。平均年数(標準偏差)は15.5(11.9)年,中央値(第1四分位/第3四分位)は5(13/26)年であった。

歯科技工士免許を取得した年齢では、「25歳未満」が150人(81.1%)、「25～30歳未満」が29人(15.7%)、「30歳以上」が6人(3.2%)であった。平均年齢(標準偏差)は22.0(3.1)歳,中央値(第1四分位/第3四分位)は20(20/23)歳であった。

性別は,男性88人(47.6%),女性97人(52.4%)であり,婚姻状況では,未婚52人(28.1%),既婚133人(71.9%)であった。

世帯員数は,「1名」が39人(21.1%)、「2名」が38人(20.5%)、「3名」が33人(17.8%)、「4名」が48人(25.9%)、「5名以上」が27人(14.6%)であり,子供の数では,「0名」が78人(42.2%)、「1名」が22人(11.9%)、「2名」が59人(31.9%)、「3名」が23人(12.4%)、「4名以上」が3人(1.6%)であった。

歯科技工士会への入会状況では,「現在入会」が57人(30.8%)、「過去に入会」が41人(22.2%)、「入会経験なし」が85人(45.9%)であった。

## 2. 歯科技工士養成施設に入学した理由

図1に,歯科技工士養成施設に入学した理由について得られた結果を示す。最も多い回答は「手先に自信があったから」で114人(61.6%)であり,次いで,「国家資格を取得できるから」111人(60.0%)、「医療職種だから」98人(53.0%)、「親・知人等のすすめ」56人(30.3%)、「独立開業できるから」40人(21.6%)、「安定した収入を期待」39人(21.1%)、「基本的に人との対面がない職業だから」30人(16.2%)の順であった。

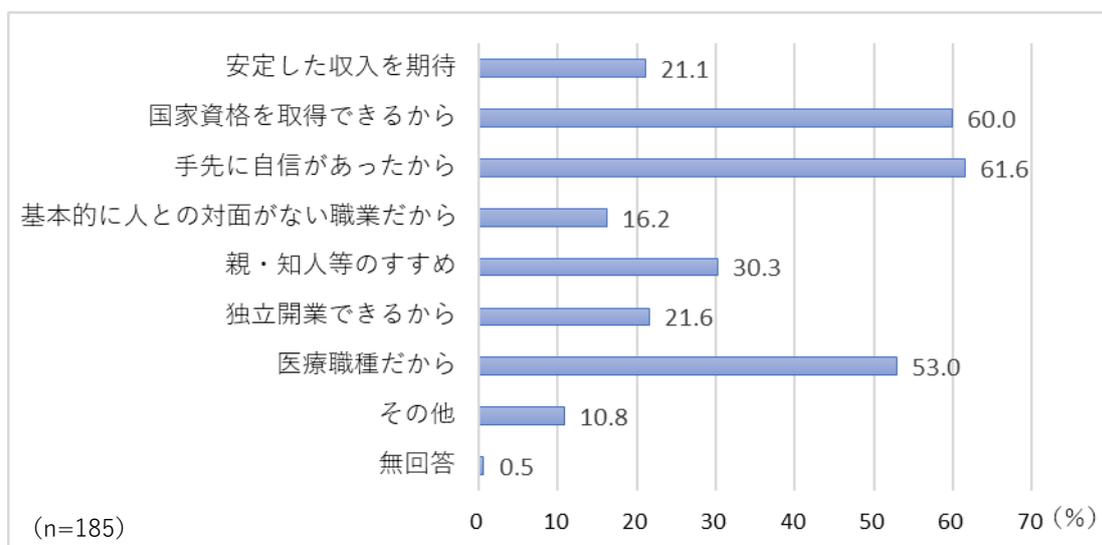


図1 歯科技工士養成施設に入学した理由（複数回答）

### 3. 現在の歯科技工士としての就業状況等について

図2に、現在の歯科技工士としての就業状況について得られた結果を示す。現に「歯科技工士として働いている」と回答した者は117人（63.2%）であり、「歯科技工士として働いていない」と回答した者は68人（36.8%）であった。

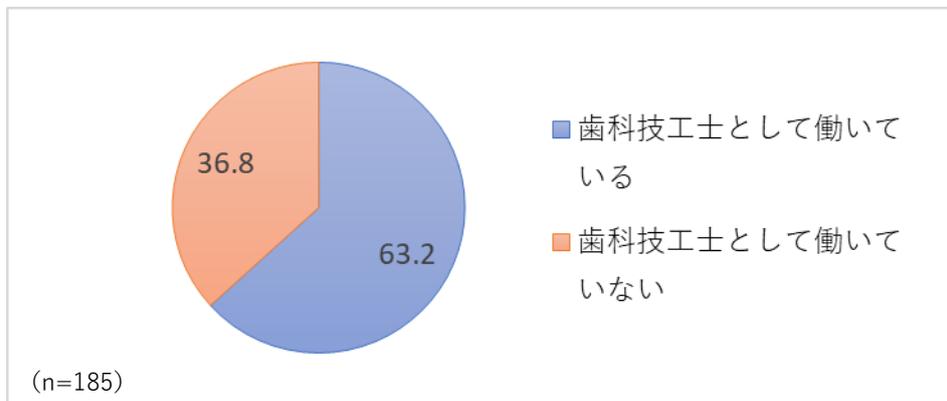


図2 現在の歯科技工士としての就業状況

表2に、歯科技工士としての業務内容に見合うと思う給与（月収）に関して得られた回答を示す。最も多い回答は「30～40万円未満」で57人（30.8%）であり、次いで、「40～50万円未満」が51人（27.6%）、「60万円以上」が31人（16.8%）、「50～60万円未満」が21人（11.4%）、「20～30万円未満」が19人（10.3%）であった。

表2 歯科技工士としての業務内容に見合うと思う給与（月収）

	回答者数	割合 (%)
20～30万円未満	19	10.3
30～40万円未満	57	30.8
40～50万円未満	51	27.6
50～60万円未満	21	11.4
60万円以上	31	16.8
無回答	6	3.2
	185	100.0

表3に、現在において歯科技工士として働いているか否かに関わらず、これまでに歯科技工士として働いた職場を変えた回数を示した。その結果、「免許は取得したが、これまでに歯科技工士として働いたことがない」が11人（5.9%）、「0回（一度技工所などに就職したが、他業種に転職した）」が23人（12.4%）、「0回（技工所などに就職してから、まだ一度も職場を変えたことがない）」が29人（15.7%）、「1回」が62人（33.5%）、「2回」が30人（16.2%）、「3回」が18人（9.7%）、「4回」が6人（3.2%）「5回以上」が6人（3.2%）であった。

表3 歯科技工士として働いた職場を変えた回数

	回答者数	割合(%)
免許は取得したが、これまでに歯科技工士として働いたことがない	11	5.9
0回（一度技工所などに就職したが、他業種に転職した）	23	12.4
0回（技工所などに就職してから、まだ一度も職場を変えたことがない）	29	15.7
1回	62	33.5
2回	30	16.2
3回	18	9.7
4回	6	3.2
5回以上	6	3.2
無回答	0	0.0
	185	100.0

#### 4. 免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況

図3に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時に、就職先を選択した際に重要視した条件について得られた回答を示す。最も多い回答は「業務内容」で123人（70.7%）であり、次いで、「給与」77人（44.3%），「立地」68人（39.1%），「雰囲気」51人（29.3%），「就業時間」46人（26.4%），「福利厚生」44人（25.3%）の順であった。

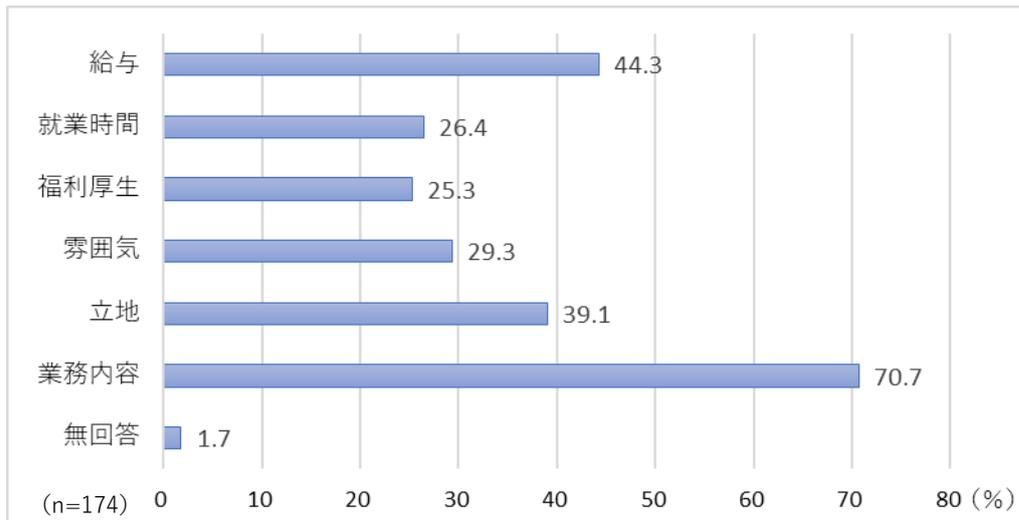


図3 就職先を選択した際に重要視した条件（複数回答）

表4に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、学会や勉強会等への参加機会について得られた回答を示す。「少ない」と回答した者が83人（47.7%）であり、「やや少ない」が35人（20.1%），「やや多い」が32人（18.4%），「多い」が22人（12.6%）であった。

表4 免許取得直後における学会や勉強会等への参加機会

	回答者数	割合 (%)
少ない	83	47.7
やや少ない	35	20.1
やや多い	32	18.4
多い	22	12.6
無回答	2	1.1
	174	100.0

表5に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の給与の状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が42人（24.1%）であり、「やや不満」が57人（32.8%）、「やや満足」が55人（31.6%）、「満足」が20人（11.5%）であった。

表5 免許取得直後における給与の状況

	回答者数	割合(%)
不満	42	24.1
やや不満	57	32.8
やや満足	55	31.6
満足	20	11.5
	174	100.0

表6に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の勤務時間の状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が52人（29.9%）であり、「やや不満」が47人（27.0%）、「やや満足」が44人（25.3%）、「満足」が31人（17.8%）であった。

表6 免許取得直後における勤務時間の状況

	回答者数	割合(%)
不満	52	29.9
やや不満	47	27.0
やや満足	44	25.3
満足	31	17.8
	174	100.0

表7に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の日々の業務状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が41人（23.6%）であり、「やや不満」が44人（25.3%）、「やや満足」が61人（35.1%）、「満足」が28人（16.1%）であった。

表7 免許取得直後における日々の業務の状況

	回答者数	割合(%)
不満	41	23.6
やや不満	44	25.3
やや満足	61	35.1
満足	28	16.1
	174	100.0

## 5. 現在、歯科技工士として就業している者の就業環境について

表8に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、現在の就業場所について得られた回答を示す。「歯科技工所（開業）」が33人（28.2%）であり、「歯科技工所（勤務）」が27人（23.1%）、「病院」が16人（13.7%）、「歯科診療所」が27人（23.1%）、「歯科関係企業」が6人（5.1%）、「養成機関」が8人（6.8%）であった。

表8 現在の就業場所

	回答者数	割合(%)
歯科技工所（開業）	33	28.2
歯科技工所（勤務）	27	23.1
病院	16	13.7
歯科診療所	27	23.1
歯科関係企業	6	5.1
養成機関	8	6.8
	117	100.0

表9に、表8で「歯科技工所（開業）」、「歯科技工所（勤務）」、「病院」または「歯科診療所」に就業していると回答した者を対象として、現在の主な業務内容について調べた結果を示す。「クラウン・ブリッジ」と回答した者が64人（62.1%）で最も多く、次いで、「有床義歯」29人（28.2%）、「小児矯正」8人（7.8%）の順であった。

表9 現在の主な業務内容

	回答者数	割合(%)
有床義歯	29	28.2
クラウン・ブリッジ	64	62.1
小児矯正	8	7.8
無回答	2	1.9
	103	100.0

表8で歯科技工所（開業・勤務）、病院、歯科診療所に勤務していると回答した者が対象

表 10 に、表 8 で「歯科技工所（開業）」、「歯科技工所（勤務）」、「病院」または「歯科診療所」に就業していると回答した者を対象として、現在の職場での CAD/CAM の有無について調べた結果を示す。「ない」と回答した者が 60 人 (58.3%)、「CAD のみある」が 11 人 (10.7%)、「CAD/CAM がある」が 32 人 (31.1%) であった。

表 10 CAD/CAM の有無

	回答者数	割合 (%)
ない	60	58.3
CADのみある	11	10.7
CAD/CAMがある	32	31.1
	103	100.0

表 8 で歯科技工所（開業・勤務）、病院、歯科診療所に勤務していると回答した者が対象

表 11 に、表 8 で「歯科技工所（開業）」または「歯科技工所（勤務）」に就業していると回答した者を対象として、現在の歯科技工所の規模について調べた結果を示す。「2～4 人」と回答した者が 25 人 (41.7%) で最も多く、次いで、「1 人」17 人 (28.3%)、「5～9 人」6 人 (10.0%)、「10～19 人」6 人 (10.0%)、「20 人以上」6 人 (10.0%) の順であった。

表 11 歯科技工所の規模

	回答者数	割合 (%)
1人	17	28.3
2～4人	25	41.7
5～9人	6	10.0
10～19人	6	10.0
20人以上	6	10.0
	60	100.0

表 8 で歯科技工所（開業・勤務）に勤務していると回答した者が対象

表 12 に、現に歯科技工士として就業している者の勤務形態について調べた結果を示す。「常勤（週 40 時間以上の勤務）」と回答した者が 104 人（88.9%）であり、「非常勤」と回答した者は 13 人（11.1%）であった。

表 12 勤務形態

	回答者数	割合 (%)
常勤（週40時間以上の勤務）	104	88.9
非常勤	13	11.1
	117	100.0

表 13 に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、現在の職場を辞めたいと思っているか（開業の場合は、廃業）否かについて調べた結果を示す。「思わない」と回答した者が 84 人（71.8%）であり、「やや思う」が 21 人（17.9%）、「思う」が 12 人（10.3%）であった。

表 13 現在の職場を辞めたいと思っているか（開業の場合は、廃業）

	回答者数	割合 (%)
思わない	84	71.8
やや思う	21	17.9
思う	12	10.3
	117	100.0

表 14 に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、他の職業に移りたいと思っているか否かについて調べた結果を示す。「思わない」と回答した者が 84 人（71.8%）であり、「やや思う」が 27 人（23.1%）、「思う」が 6 人（5.1%）であった。

表 14 他の職業に移りたいと思っているか

	回答者数	割合 (%)
思わない	84	71.8
やや思う	27	23.1
思う	6	5.1
	117	100.0

## 6. 現在、歯科技工士として就業していない者の状況等について

表15に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を最後に辞めたときの年齢を示す（離職時の年齢）。年代別にみた回答者の年齢は、「20～25歳未満」が16人（23.5%）であり、「25～30歳未満」が23人（33.8%）、「30～35歳未満」が10人（14.7%）、「35歳以上」が10人（14.7%）であった。なお、平均年齢（標準偏差）は28.4（6.0）歳、中央値（第1四分位/第3四分位）は27（24/31）歳であった。

表15 歯科技工士としての仕事を最後に辞めたときの年齢

	回答者数	割合(%)
20～25歳未満	16	23.5
25～30歳未満	23	33.8
30～35歳未満	10	14.7
35歳以上	10	14.7
無回答	9	13.2
	68	100.0

図4に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を辞めた理由について得られた回答を示した（離職理由）。「給与・待遇の面」と回答した者が28人（41.2%）で最も多く、次いで、「仕事内容への不安」22人（32.4%）、「健康面」16人（23.5%）、「人間関係」14人（20.6%）、「歯科以外への興味」14人（20.6%）、「結婚」11人（16.2%）、「出産・育児」10人（14.7%）、「家庭等の事情」4人（5.9%）、「家族等の介護」2人（2.9%）の順であった。

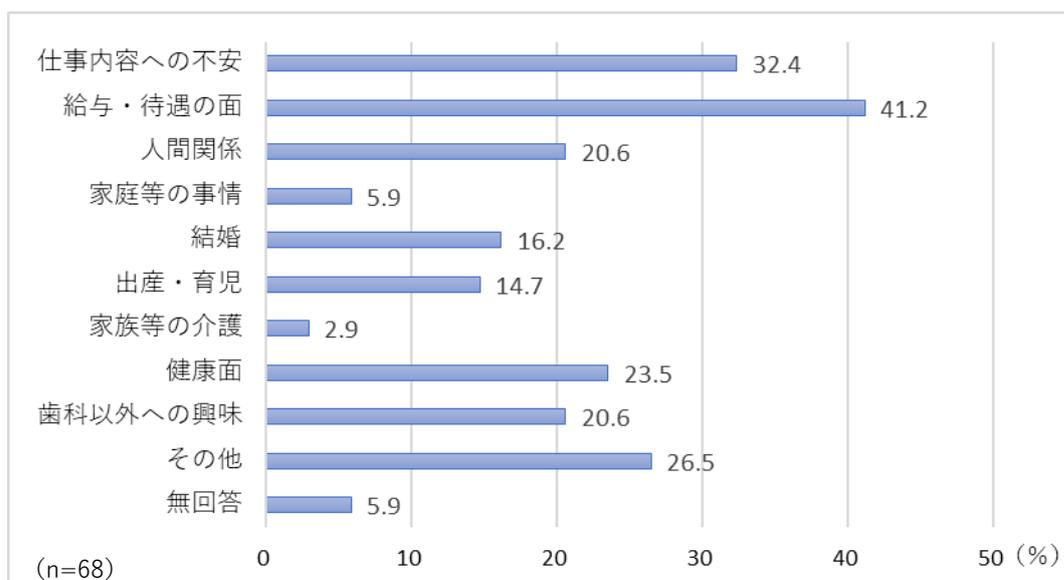


図4 歯科技工士としての仕事を辞めた理由（複数回答）

表 16 に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士として再び働くことへの意欲について得られた回答を示した。「とても意欲がある」と回答した者が 2 人 (2.9%) であり、「少し意欲がある」が 17 人 (25.0%)、「そのつもりはない」が 46 人 (67.6%) であった。

表 16 歯科技工士として再び働くことへの意欲

	回答者数	割合 (%)
とても意欲がある	2	2.9
少し意欲がある	17	25.0
そのつもりはない	46	67.6
無回答	3	4.4
	68	100.0



## 1. 回答者の基本属性

表1に回答者の基本属性を示す。年代別にみた回答者の年齢は、「20歳代」が12人(3.8%)、「30歳代」が13人(4.1%)、「40歳代」が16人(5.0%)、「50歳代以上」が277人(86.8%)であった。なお、平均年齢(標準偏差)は35.7(9.1)歳、中央値(第1四分位/第3四分位)は35(28/43)歳であった。

表1 回答者の基本属性

		回答者数	割合(%)
年齢	20歳代	12	3.8
	30歳代	13	4.1
	40歳代	16	5.0
	50歳代以上	277	86.8
	無回答	1	0.3
歯科技工士としての 就業年数	無し	13	4.1
	1年未満	16	5.0
	1年～5年未満	108	33.9
	5年～10年未満	71	22.3
	10年～15年未満	36	11.3
	15年～20年未満	16	5.0
	20年以上	57	17.9
	無回答	2	0.6
歯科技工士免許を 取得した年齢	25歳未満	299	93.7
	25～30歳未満	14	4.4
	30歳以上	6	1.9
性別	男性	179	56.1
	女性	140	43.9
婚姻状況	未婚	168	52.7
	既婚	150	47.0
	無回答	1	0.3
世帯員数	1名(自分のみ)	90	28.2
	2名	58	18.2
	3名	72	22.6
	4名	68	21.3
	5名以上	26	8.2
	無回答	5	1.6
子供の数	0名	177	55.5
	1名	51	16.0
	2名	67	21.0
	3名	19	6.0
	4名以上	2	0.6
	無回答	3	0.9
歯科技工士会への 入会状況	現在入会	53	16.6
	過去に入会	70	21.9
	入会経験なし	185	58.0
	無回答	11	3.4

(n=319)

歯科技工士としての就業年数では、「無し」が13人(4.1%)、「1年未満」が16人(5.0%)、「1年～5年未満」が108人(33.9%)、「5年～10年未満」が71人(22.3%)、「10年～15年未満」が36人(11.3%)、「15年～20年未満」が16人(5.0%)、「20年以上」が57人(17.9%)であった。平均年数(標準偏差)は9.0(8.7)年、中央値(第1四分位/第3四分位)は6(2/13)年であった。

歯科技工士免許を取得した年齢では、「25歳未満」が299人(93.7%)、「25～30歳未満」が14人(4.4%)、「30歳以上」が6人(1.9%)であった。平均年齢(標準偏差)は20.7(2.4)歳、中央値(第1四分位/第3四分位)は20(20/20)歳であった。

性別は、男性179人(56.1%)、女性140人(43.9%)であり、婚姻状況では、未婚168人(52.7%)、既婚150人(47.0%)であった。

世帯員数は、「1名」が90人(28.2%)、「2名」が58人(18.2%)、「3名」が72人(22.6%)、「4名」が68人(21.3%)、「5名以上」が26人(8.2%)であり、子供の数では、「0名」が177人(55.5%)、「1名」が51人(16.0%)、「2名」が67人(21.0%)、「3名」が19人(6.0%)、「4名以上」が2人(0.6%)であった。

歯科技工士会への入会状況では、「現在入会」が53人(16.6%)、「過去に入会」が70人(21.9%)、「入会経験なし」が185人(58.0%)であった。

## 2. 歯科技工士養成施設に入学した理由

図1に、歯科技工士養成施設に入学した理由について得られた結果を示す。最も多い回答は「国家資格を取得できるから」で196人(61.4%)であり、次いで、「手先に自信があったから」131人(41.1%)、「医療職種だから」119人(37.3%)、「親・知人等のすすめ」107人(33.5%)、「安定した収入を期待」84人(26.3%)、「基本的に人との対面がない職業だから」60人(18.8%)、「独立開業できるから」49人(15.4%)の順であった。

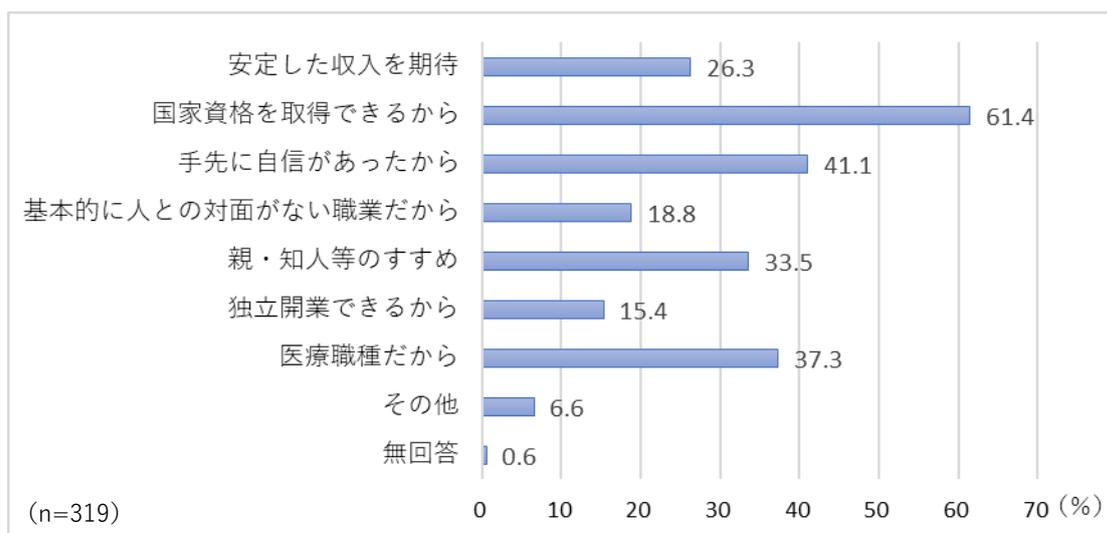


図1 歯科技工士養成施設に入学した理由（複数回答）

### 3. 現在の歯科技工士としての就業状況等について

図2に、現在の歯科技工士としての就業状況について得られた結果を示す。現に「歯科技工士として働いている」と回答した者は181人（56.7%）であり、「歯科技工士として働いていない」と回答した者は138人（43.3%）であった。

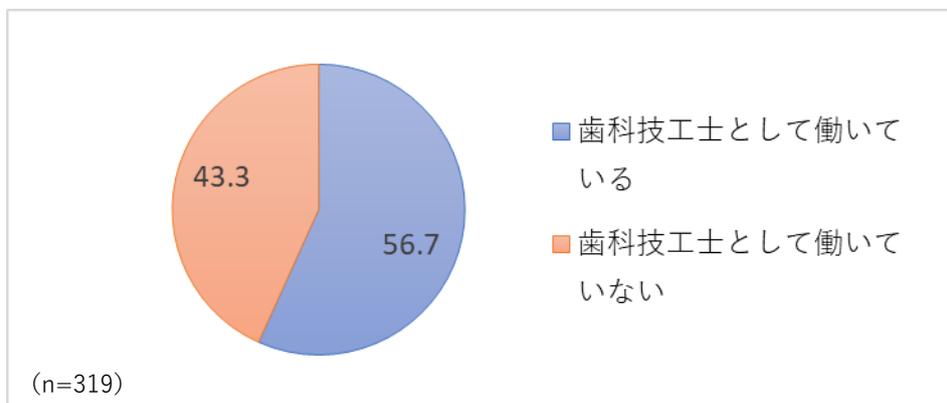


図2 現在の歯科技工士としての就業状況

表2に、歯科技工士としての業務内容に見合うと思う給与（月収）に関して得られた回答を示す。最も多い回答は「30～40万円未満」で144人（45.1%）であり、次いで、「40～50万円未満」が63人（19.7%）、「20～30万円未満」が54人（16.9%）、「50～60万円未満」が30人（9.4%）、「60万円以上」が19人（6.0%）であった。

表2 歯科技工士としての業務内容に見合うと思う給与（月収）

	回答者数	割合 (%)
20～30万円未満	54	16.9
30～40万円未満	144	45.1
40～50万円未満	63	19.7
50～60万円未満	30	9.4
60万円以上	19	6.0
無回答	9	2.8
	319	100.0

表3に、現在において歯科技工士として働いているか否かに関わらず、これまでに歯科技工士として働いた職場を変えた回数を示した。その結果、「免許は取得したが、これまでに歯科技工士として働いたことがない」が9人（2.8%）、「0回（一度技工所などに就職したが、他業種に転職した）」が77人（24.1%）、「0回（技工所などに就職してから、まだ一度も職場を変えたことがない）」が77人（24.1%）、「1回」が77人（24.1%）、「2回」が38人（11.9%）、「3回」が27人（8.5%）、「4回」が8人（2.5%）「5回以上」が2人（0.6%）であった。

表3 歯科技工士として働いた職場を変えた回数

	回答者数	割合(%)
免許は取得したが、これまでに歯科技工士として働いたことがない	9	2.8
0回（一度技工所などに就職したが、他業種に転職した）	77	24.1
0回（技工所などに就職してから、まだ一度も職場を変えたことがない）	77	24.1
1回	77	24.1
2回	38	11.9
3回	27	8.5
4回	8	2.5
5回以上	2	0.6
無回答	4	1.3
	319	100.0

#### 4. 免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況

図3に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時に、就職先を選択した際に重要視した条件について得られた回答を示す。最も多い回答は「立地」で146人（47.2%）であり、次いで、「福利厚生」106人（34.3%）、「業務内容」105人（34.0%）、「就業時間」103人（33.3%）、「雰囲気」98人（31.7%）、「給与」94人（30.4%）の順であった。

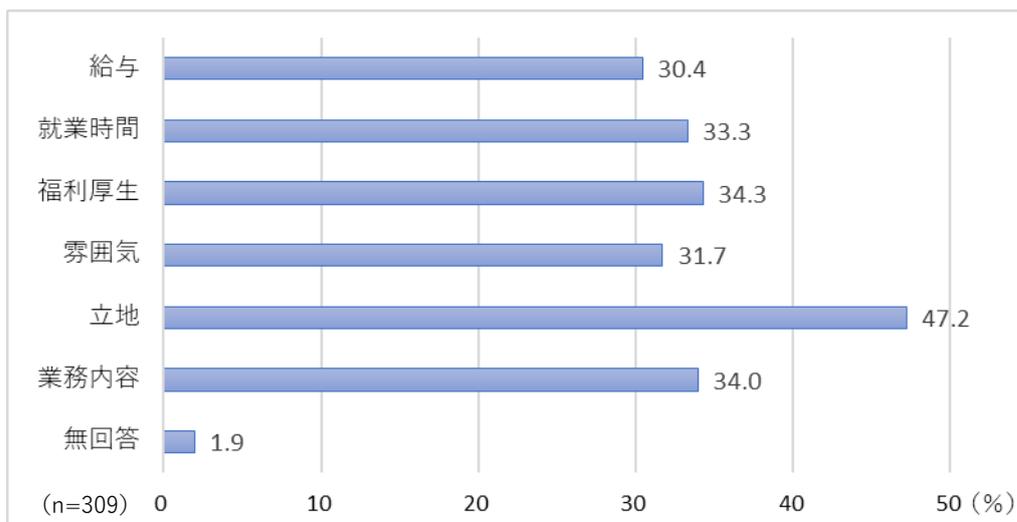


図3 就職先を選択した際に重要視した条件（複数回答）

表4に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、学会や勉強会等への参加機会について得られた回答を示す。「少ない」と回答した者が206人（66.7%）であり、「やや少ない」が49人（15.9%）、「やや多い」が29人（9.4%）、「多い」が13人（4.2%）であった。

表4 免許取得直後における学会や勉強会等への参加機会

	回答者数	割合 (%)
少ない	206	66.7
やや少ない	49	15.9
やや多い	29	9.4
多い	13	4.2
無回答	12	3.9
	309	100.0

表5に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の給与の状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が152人（49.2%）であり、「やや不満」が92人（29.8%）、「やや満足」が48人（15.5%）、「満足」が14人（4.5%）であった。

**表5** 免許取得直後における給与の状況

	回答者数	割合(%)
不満	152	49.2
やや不満	92	29.8
やや満足	48	15.5
満足	14	4.5
無回答	3	1.0
	309	100.0

表6に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の勤務時間の状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が179人（57.9%）であり、「やや不満」が78人（25.2%）、「やや満足」が32人（10.4%）、「満足」が18人（5.8%）であった。

**表6** 免許取得直後における勤務時間の状況

	回答者数	割合(%)
不満	179	57.9
やや不満	78	25.2
やや満足	32	10.4
満足	18	5.8
無回答	2	0.6
	309	100.0

表7に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の日々の業務状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が127人（41.1%）であり、「やや不満」が111人（35.9%）、「やや満足」が50人（16.2%）、「満足」が17人（5.5%）であった。

**表7** 免許取得直後における日々の業務の状況

	回答者数	割合(%)
不満	127	41.1
やや不満	111	35.9
やや満足	50	16.2
満足	17	5.5
無回答	4	1.3
	309	100.0

## 5. 現在、歯科技工士として就業している者の就業環境について

表8に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、現在の就業場所について得られた回答を示す。「歯科技工所（開業）」が35人（19.3%）であり、「歯科技工所（勤務）」が94人（51.9%）、「病院」が3人（1.7%）、「歯科診療所」が43人（23.8%）、「歯科関係企業」が3人（1.7%）、「養成機関」が2人（1.1%）であった。

表8 現在の就業場所

	回答者数	割合(%)
歯科技工所（開業）	35	19.3
歯科技工所（勤務）	94	51.9
病院	3	1.7
歯科診療所	43	23.8
歯科関係企業	3	1.7
養成機関	2	1.1
無回答	1	0.6
	181	100.0

表9に、表8で「歯科技工所（開業）」、「歯科技工所（勤務）」、「病院」または「歯科診療所」に就業していると回答した者を対象として、現在の主な業務内容について調べた結果を示す。「クラウン・ブリッジ」と回答した者が97人（55.4%）で最も多く、次いで、「有床義歯」63人（36.0%）、「小児矯正」10人（5.7%）の順であった。

表9 現在の主な業務内容

	回答者数	割合(%)
有床義歯	63	36.0
クラウン・ブリッジ	97	55.4
小児矯正	10	5.7
無回答	5	2.9
	175	100.0

表8で歯科技工所（開業・勤務）、病院、歯科診療所に勤務していると回答した者が対象

表 10 に、表 8 で「歯科技工所（開業）」、「歯科技工所（勤務）」、「病院」または「歯科診療所」に就業していると回答した者を対象として、現在の職場での CAD/CAM の有無について調べた結果を示す。「CAD/CAM がある」と回答した者が 87 人（49.7%）で最も多く、次いで、「ない」73 人（41.7%）、「CAD のみある」13 人（7.4%）の順であった。

表 10 CAD/CAM の有無

	回答者数	割合 (%)
ない	73	41.7
CADのみある	13	7.4
CAD/CAMがある	87	49.7
無回答	2	1.1
	175	100.0

表 8 で歯科技工所（開業・勤務）、病院、歯科診療所に勤務していると回答した者が対象

表 11 に、表 8 で「歯科技工所（開業）」または「歯科技工所（勤務）」に就業していると回答した者を対象として、現在の歯科技工所の規模について調べた結果を示す。「20 人以上」と回答した者が 45 人（34.9%）で最も多く、次いで、「2～4 人」22 人（17.1%）、「1 人」21 人（16.3%）、「10～19 人」20 人（15.5%）、「5～9 人」15 人（11.6%）の順であった。

表 11 歯科技工所の規模

	回答者数	割合 (%)
1人	21	16.3
2～4人	22	17.1
5～9人	15	11.6
10～19人	20	15.5
20人以上	45	34.9
無回答	6	4.7
	129	100.0

表 8 で歯科技工所（開業・勤務）に勤務していると回答した者が対象

表 12 に、現に歯科技工士として就業している者の勤務形態について調べた結果を示す。「常勤（週 40 時間以上の勤務）」と回答した者が 168 人（92.8%）であり、「非常勤」と回答した者は 11 人（6.1%）であった。

表 12 勤務形態

	回答者数	割合 (%)
常勤（週 40 時間以上の勤務）	168	92.8
非常勤	11	6.1
無回答	2	1.1
	181	100.0

表 13 に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、現在の職場を辞めたいと思っているか（開業の場合は、廃業）否かについて調べた結果を示す。「思わない」と回答した者が 91 人（50.3%）であり、「やや思う」が 56 人（30.9%）、「思う」が 31 人（17.1%）であった。

表 13 現在の職場を辞めたいと思っているか（開業の場合は、廃業）

	回答者数	割合 (%)
思わない	91	50.3
やや思う	56	30.9
思う	31	17.1
無回答	3	1.7
	181	100.0

表 14 に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、他の職業に移りたいと思っているか否かについて調べた結果を示す。「思わない」と回答した者が 80 人（44.2%）であり、「やや思う」が 67 人（37.0%）、「思う」が 31 人（17.1%）であった。

表 14 他の職業に移りたいと思っているか

	回答者数	割合 (%)
思わない	80	44.2
やや思う	67	37.0
思う	31	17.1
無回答	3	1.7
	181	100.0

## 6. 現在、歯科技工士として就業していない者の状況等について

表15に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を最後に辞めたときの年齢を示す（離職時の年齢）。年代別にみた回答者の年齢は、「20～25歳未満」が76人（55.1%）であり、「25～30歳未満」が32人（23.2%）、「30～35歳未満」が16人（11.6%）、「35歳以上」が6人（4.3%）であった。なお、平均年齢（標準偏差）は25.3（5.5）歳、中央値（第1四分位/第3四分位）は24（22/27）歳であった。

表15 歯科技工士としての仕事を最後に辞めたときの年齢

	回答者数	割合(%)
20～25歳未満	76	55.1
25～30歳未満	32	23.2
30～35歳未満	16	11.6
35歳以上	6	4.3
無回答	8	5.8
	138	100.0

図4に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を辞めた理由について得られた回答を示した（離職理由）。「給与・待遇の面」と回答した者が80人（58.0%）で最も多く、次いで、「仕事内容への不安」72人（52.2%）、「健康面」42人（30.4%）、「人間関係」40人（29.0%）、「歯科以外への興味」22人（15.9%）、「結婚」14人（10.1%）、「家庭等の事情」9人（6.5%）、「出産・育児」5人（3.6%）、「家族等の介護」1人（0.7%）の順であった。

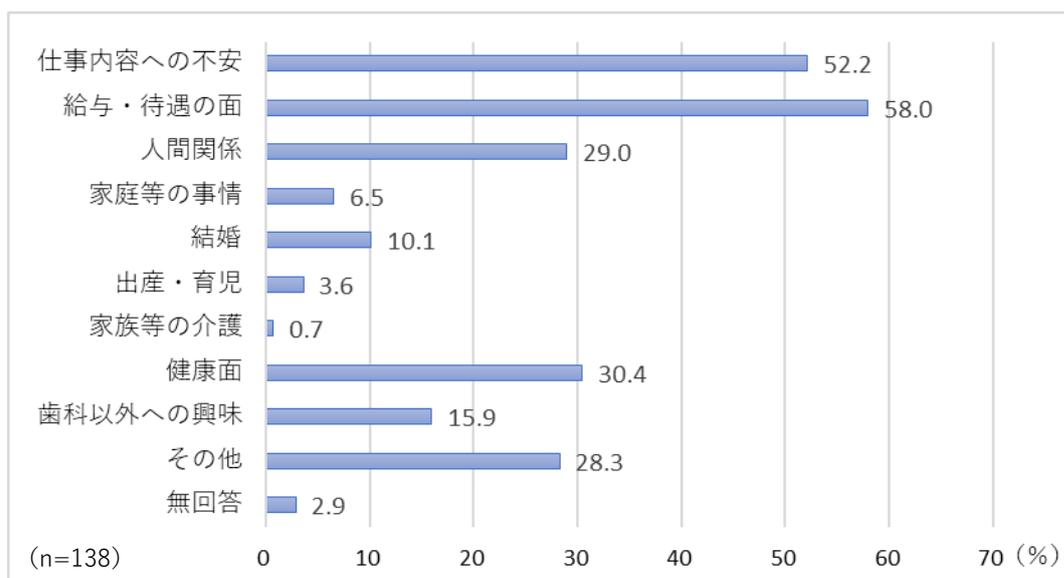


図4 歯科技工士としての仕事を辞めた理由（複数回答）

表 16 に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士として再び働くことへの意欲について得られた回答を示した。「とても意欲がある」と回答した者が 4 人 (2.9%) であり、「少し意欲がある」が 34 人 (24.6%)、「そのつもりはない」が 97 人 (70.3%) であった。

表 16 歯科技工士として再び働くことへの意欲

	回答者数	割合 (%)
とても意欲がある	4	2.9
少し意欲がある	34	24.6
そのつもりはない	97	70.3
無回答	3	2.2
	138	100.0



## 1. 回答者の基本属性

表1に回答者の基本属性を示す。年代別にみた回答者の年齢は、「20歳代」が11人(31.4%)、「30歳代」が12人(34.3%)、「40歳代」が11人(31.4%)、「50歳代以上」が1人(2.9%)であった。なお、平均年齢(標準偏差)は33.9(8.1)歳、中央値(第1四分位/第3四分位)は33(27/41)歳であった。

表1 回答者の基本属性

		回答者数	割合(%)
年齢	20歳代	11	31.4
	30歳代	12	34.3
	40歳代	11	31.4
	50歳代以上	1	2.9
歯科技工士としての 就業年数	無し	0	0.0
	1年未満	1	2.9
	1年～5年未満	10	28.6
	5年～10年未満	7	20.0
	10年～15年未満	7	20.0
	15年～20年未満	3	8.6
	20年以上	6	17.1
	無回答	1	2.9
歯科技工士免許を 取得した年齢	25歳未満	31	88.6
	25～30歳未満	1	2.9
	30歳以上	3	8.6
性別	男性	20	57.1
	女性	15	42.9
婚姻状況	未婚	20	57.1
	既婚	15	42.9
世帯員数	1名(自分のみ)	14	40.0
	2名	6	17.1
	3名	3	8.6
	4名	8	22.9
	5名以上	4	11.4
子供の数	0名	24	68.6
	1名	2	5.7
	2名	6	17.1
	3名	2	5.7
	4名以上	1	2.9
歯科技工士会への 入会状況	現在入会	8	22.9
	過去に入会	2	5.7
	入会経験なし	25	71.4

(n=35)

歯科技工士としての就業年数では、「無し」が0人（0.0%）、「1年未満」が1人（2.9%）、「1年～5年未満」が10人（28.6%）、「5年～10年未満」が7人（20.0%）、「10年～15年未満」が7人（20.0%）、「15年～20年未満」が3人（8.6%）、「20年以上」が6人（17.1%）であった。平均年数（標準偏差）は9.9（7.6）年、中央値（第1四分位/第3四分位）は8（3/16）年であった。

歯科技工士免許を取得した年齢では、「25歳未満」が31人（88.6%）、「25～30歳未満」が1人（2.9%）、「30歳以上」が3人（8.6%）であった。平均年齢（標準偏差）は21.4（20.0）歳、中央値（第1四分位/第3四分位）は20（20/20）歳であった。

性別は、男性20人（57.1%）、女性15人（42.9%）であり、婚姻状況では、未婚20人（57.1%）、既婚15人（42.9%）であった。

世帯員数は、「1名」が14人（40.0%）、「2名」が6人（17.1%）、「3名」が3人（8.6%）、「4名」が8人（22.9%）、「5名以上」が4人（11.4%）であり、子供の数では、「0名」が24人（68.6%）、「1名」が2人（5.7%）、「2名」が6人（17.1%）、「3名」が2人（5.7%）、「4名以上」が1人（2.9%）であった。

歯科技工士会への入会状況では、「現在入会」が8人（22.9%）、「過去に入会」が2人（5.7%）、「入会経験なし」が25人（71.4%）であった。

## 2. 歯科技工士養成施設に入学した理由

図1に、歯科技工士養成施設に入学した理由について得られた結果を示す。最も多い回答は「国家資格を取得できるから」で20人（57.1%）であり、次いで、「親・知人等のすすめ」18人（51.4%）、「手先に自信があったから」17人（48.6%）、「医療職種だから」10人（28.6%）、「独立開業できるから」9人（25.7%）、「基本的に人との対面がない職業だから」8人（22.9%）、「安定した収入を期待」4人（11.4%）の順であった。

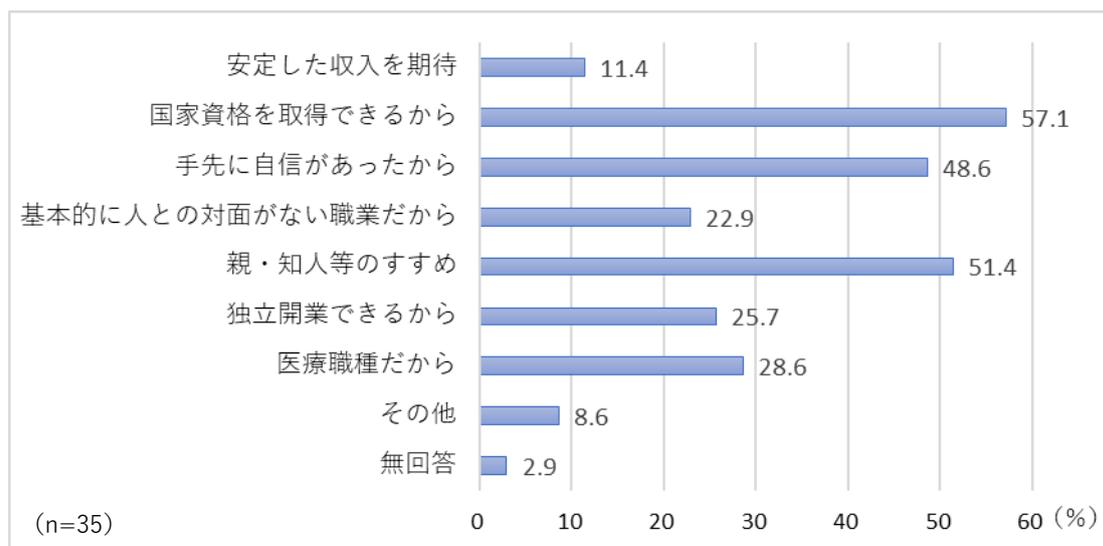


図1 歯科技工士養成施設に入学した理由（複数回答）

### 3. 現在の歯科技工士としての就業状況等について

図2に、現在の歯科技工士としての就業状況について得られた結果を示す。現に「歯科技工士として働いている」と回答した者は30人（85.7%）であり、「歯科技工士として働いていない」と回答した者は5人（14.3%）であった。

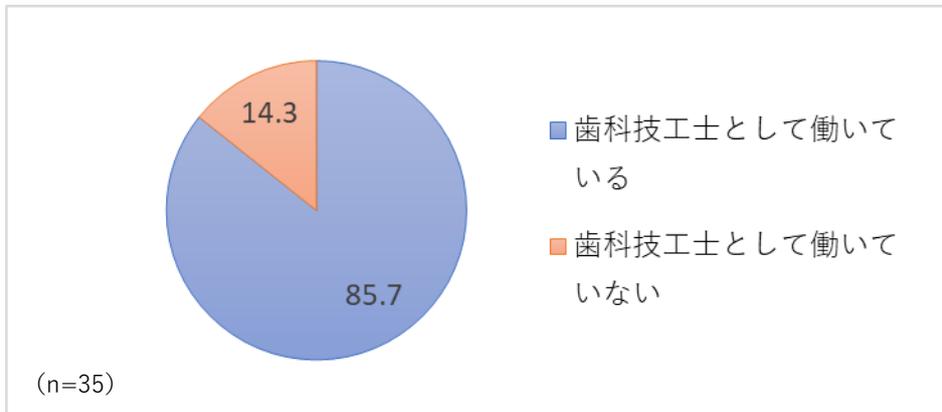


図2 現在の歯科技工士としての就業状況

表2に、歯科技工士としての業務内容に見合うと思う給与（月収）に関して得られた回答を示す。最も多い回答は「30～40万円未満」で16人（45.7%）であり、次いで、「40～50万円未満」が10人（28.6%）、「50～60万円未満」が4人（11.4%）、「20～30万円未満」が3人（8.6%）、「60万円以上」が2人（5.7%）であった。

表2 歯科技工士としての業務内容に見合うと思う給与（月収）

	回答者数	割合 (%)
20～30万円未満	3	8.6
30～40万円未満	16	45.7
40～50万円未満	10	28.6
50～60万円未満	4	11.4
60万円以上	2	5.7
合計	35	100.0

表3に、現在において歯科技工士として働いているか否かに関わらず、これまでに歯科技工士として働いた職場を変えた回数を示した。その結果、「免許は取得したが、これまでに歯科技工士として働いたことがない」が1人（2.9%）、「0回（一度技工所などに就職したが、他業種に転職した）」が1人（2.9%）、「0回（技工所などに就職してから、まだ一度も職場を変えたことがない）」が19人（54.3%）、「1回」が7人（20.0%）、「2回」が4人（11.4%）、「3回」が2人（5.7%）であった。

表3 歯科技工士として働いた職場を変えた回数

	回答者数	割合(%)
免許は取得したが、これまでに歯科技工士として働いたことがない	1	2.9
0回（一度技工所などに就職したが、他業種に転職した）	1	2.9
0回（技工所などに就職してから、まだ一度も職場を変えたことがない）	19	54.3
1回	7	20.0
2回	4	11.4
3回	2	5.7
4回	0	0.0
5回以上	0	0.0
無回答	1	2.9
	35	100.0

#### 4. 免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況

図3に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時に、就職先を選択した際に重要視した条件について得られた回答を示す。最も多い回答は「立地」で18人（52.9%）であり、次いで、「業務内容」15人（44.1%）,「就業時間」12人（35.3%）,「給与」11人（32.4%）,「福利厚生」10人（29.4%）,「雰囲気」10人（29.4%）の順であった。

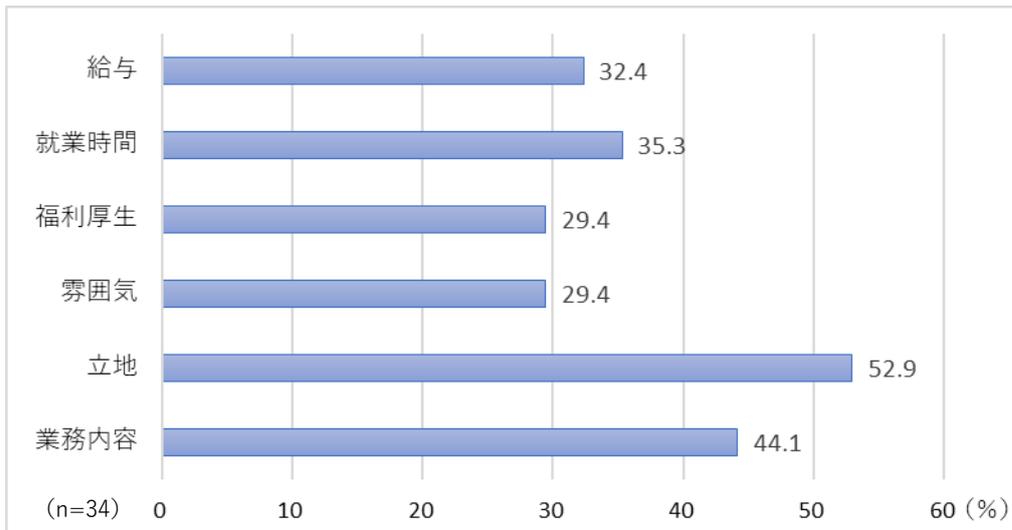


図3 就職先を選択した際に重要視した条件（複数回答）

表4に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、学会や勉強会等への参加機会について得られた回答を示す。「少ない」と回答した者が19人（55.9%）であり、「やや少ない」が8人（23.5%）,「やや多い」が5人（14.7%）,「多い」が2人（5.9%）であった。

表4 免許取得直後における学会や勉強会等への参加機会

	回答者数	割合 (%)
少ない	19	55.9
やや少ない	8	23.5
やや多い	5	14.7
多い	2	5.9
	34	100.0

表5に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の給与の状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が9人（26.5%）であり、「やや不満」が19人（55.9%）、「やや満足」が3人（8.8%）、「満足」が3人（8.8%）であった。

表5 免許取得直後における給与の状況

	回答者数	割合(%)
不満	9	26.5
やや不満	19	55.9
やや満足	3	8.8
満足	3	8.8
	34	100.0

表6に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の勤務時間の状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が14人（41.2%）であり、「やや不満」が10人（29.4%）、「やや満足」が6人（17.6%）、「満足」が4人（11.8%）であった。

表6 免許取得直後における勤務時間の状況

	回答者数	割合(%)
不満	14	41.2
やや不満	10	29.4
やや満足	6	17.6
満足	4	11.8
	34	100.0

表7に、免許を取得してから歯科技工士として働き始めた1～2年目の時の状況において、その時の日々の業務状況について得られた回答を示す。「不満」と回答した者が8人（23.5%）であり、「やや不満」が12人（35.3%）、「やや満足」が10人（29.4%）、「満足」が4人（11.8%）であった。

表7 免許取得直後における日々の業務の状況

	回答者数	割合(%)
不満	8	23.5
やや不満	12	35.3
やや満足	10	29.4
満足	4	11.8
	34	100.0

## 5. 現在、歯科技工士として就業している者の就業環境について

表8に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、現在の就業場所について得られた回答を示す。「歯科技工所（開業）」が4人（13.3%）であり、「歯科技工所（勤務）」が15人（50.0%）、「歯科診療所」が11人（36.7%）であった。

表8 現在の就業場所

	回答者数	割合(%)
歯科技工所（開業）	4	13.3
歯科技工所（勤務）	15	50.0
病院	0	0.0
歯科診療所	11	36.7
歯科関係企業	0	0.0
養成機関	0	0.0
	30	100.0

表9に、表8で「歯科技工所（開業）」、「歯科技工所（勤務）」、「病院」または「歯科診療所」に就業していると回答した者を対象として、現在の主な業務内容について調べた結果を示す。「有床義歯」と回答した者が16人（53.3%）で最も多く、次いで、「クラウン・ブリッジ」13人（43.3%）の順であった。

表9 現在の主な業務内容

	回答者数	割合(%)
有床義歯	16	53.3
クラウン・ブリッジ	13	43.3
小児矯正	0	0.0
無回答	1	3.3
	30	100.0

表8で歯科技工所（開業・勤務）、病院、歯科診療所に勤務していると回答した者が対象

表10に、表8で「歯科技工所（開業）」、「歯科技工所（勤務）」、「病院」または「歯科診療所」に就業していると回答した者を対象として、現在の職場でのCAD/CAMの有無について調べた結果を示す。「ない」が14人（46.7%）、「CADのみある」が2人（6.7%）、「CAD/CAMがある」が14人（46.7%）であった。

表10 CAD/CAMの有無

	回答者数	割合(%)
ない	14	46.7
CADのみある	2	6.7
CAD/CAMがある	14	46.7
	30	100.0

表8で歯科技工所（開業・勤務）、病院、歯科診療所に勤務していると回答した者が対象

表11に、表8で「歯科技工所（開業）」または「歯科技工所（勤務）」に就業していると回答した者を対象として、現在の歯科技工所の規模について調べた結果を示す。「1人」と回答した者が1人（5.3%）、「2～4人」6人（31.6%）、「5～9人」6人（31.6%）、「10～19人」1人（5.3%）、「20人以上」4人（21.1%）であった。

表11 歯科技工所の規模

	回答者数	割合(%)
1人	1	5.3
2～4人	6	31.6
5～9人	6	31.6
10～19人	1	5.3
20人以上	4	21.1
無回答	1	5.3
	19	100.0

表8で歯科技工所（開業・勤務）に勤務していると回答した者が対象

**表 12** に、現に歯科技工士として就業している者の勤務形態について調べた結果を示す。「常勤（週 40 時間以上の勤務）」と回答した者が 27 人（90.0%）であり、「非常勤」と回答した者は 3 人（10.0%）であった。

**表 12** 勤務形態

	回答者数	割合 (%)
常勤（週40時間以上の勤務）	27	90.0
非常勤	3	10.0
	30	100.0

**表 13** に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、現在の職場を辞めたいと思っているか（開業の場合は、廃業）否かについて調べた結果を示す。「思わない」と回答した者が 20 人（66.7%）であり、「やや思う」が 4 人（13.3%）、「思う」が 6 人（20.0%）であった。

**表 13** 現在の職場を辞めたいと思っているか（開業の場合は、廃業）

	回答者数	割合 (%)
思わない	20	66.7
やや思う	4	13.3
思う	6	20.0
	30	100.0

**表 14** に、現に歯科技工士として就業している者を対象として、他の職業に移りたいと思っているか否かについて調べた結果を示す。「思わない」と回答した者が 18 人（60.0%）であり、「やや思う」が 10 人（33.3%）、「思う」が 2 人（6.7%）であった。

**表 14** 他の職業に移りたいと思っているか

	回答者数	割合 (%)
思わない	18	60.0
やや思う	10	33.3
思う	2	6.7
	30	100.0

## 6. 現在、歯科技工士として就業していない者の状況等について

表15に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を最後に辞めたときの年齢を示す（離職時の年齢）。年代別にみた回答者の年齢は、「20～25歳未満」が4人（80.0%）であり、「25～30歳未満」が1人（20.0%）であった。なお、平均年齢（標準偏差）は22.8（1.7）歳であった。

表15 歯科技工士としての仕事を最後に辞めたときの年齢

	回答者数	割合(%)
20～25歳未満	4	80.0
25～30歳未満	1	20.0
	5	100.0

図4に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士としての仕事を辞めた理由について得られた回答を示した（離職理由）。「仕事内容への不安」と回答した者が4人（80.0%）で最も多く、次いで、「給与・待遇の面」3人（60.0%）、「人間関係」1人（20.0%）の順であった。

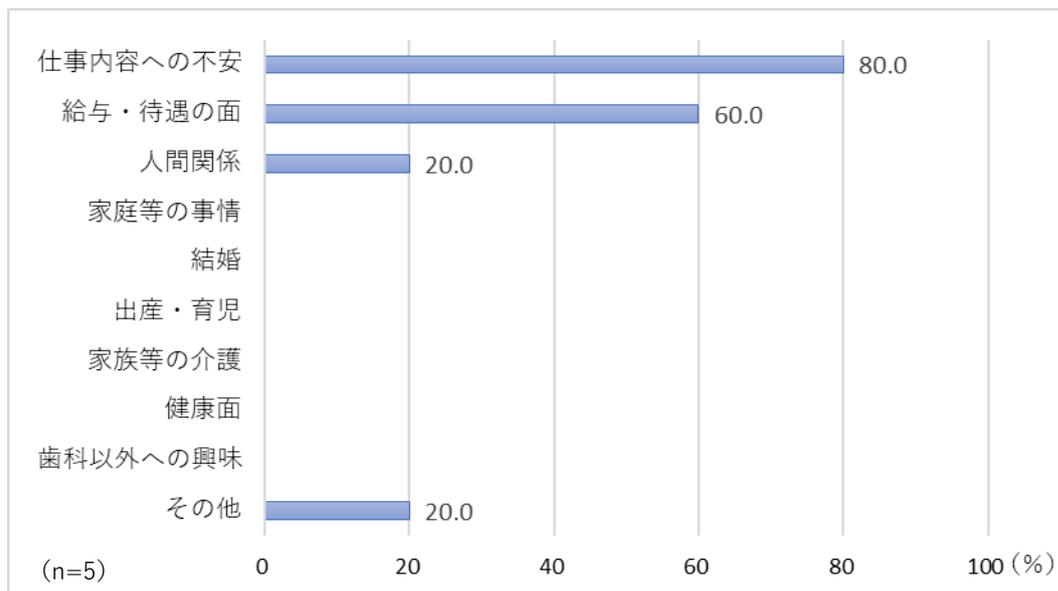


図4 歯科技工士としての仕事を辞めた理由（複数回答）

表 16 に、現在、歯科技工士として就業していない者が、歯科技工士として再び働くことへの意欲について得られた回答を示した。「少し意欲がある」と回答した者が 1 人（20.0%）であり、「そのつもりはない」が 4 人（80.0%）であった。

表 16 歯科技工士として再び働くことへの意欲

	回答者数	割合 (%)
とても意欲がある	0	0.0
少し意欲がある	1	20.0
そのつもりはない	4	80.0
	5	100.0





